



## 私たちの活動 [出前・交流スポットの開催]

NPO 法人 輝け酒々井まちづくり研究会では、町中の人々が知り合い、助け合い一つの家族のように過ごせるまちづくりを目指して毎週土曜日午前中に JR 酒々井駅改札前で町民の交流スポットを開設しており、2月28日に開設3周年を迎えました。JR 酒々井駅の交流スポットとは別に、軽乗用車「喜兵衛号」を使い、町の中心から離れた地域にも出向いて「出前・交流スポット」と称して地域の人たちとの交流を促進する活動にも取り組んでおります。1月20日には、南酒々井駅の南にあるネオポリス団地自治会主催の新年会に参加し「出前・交流スポット」を開設しました。当日は恒例の「しがらき茶屋」で牡丹餅と山本山のお茶を賞味して頂き、万福さんと絶好調さんの落語を楽しんで頂いたりして地元の皆さんの交流の場づくりに協力することが出来ました。今年も各地の自治会のご協力を頂いて「出前・交流スポット」の開設に積極的に取り組んでいきたいと考えております。ご希望がありましたらお声がけ下さい。



ネオポリス自治会新年会での喜兵衛号

## 明治大学マンドリン倶楽部演奏会のお知らせ



前号のシスイッチで予告した明治大学マンドリン倶楽部の演奏会が下記の通り開催されることになりました。

4月21日(日) 14時開場 / 14時半開演 於：プリミエール酒々井  
若者たちが奏でる、力強く豊かな広がりを持ったマンドリンの響きに心和ませ、地域の人たちの交流と共に、世代間の交流の輪が更に広がって行くようにとの願いを込めたコンサートです。クラシカルな曲目と共に懐かしい古賀メロディーも演奏されます。春のひと時、ごゆっくりお楽しみ下さい。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

チケットの購入等詳細については、ポスター、チラシ等でご確認ください。

尚、当日は町議選の投票日で役場駐車場は使えません。出来るだけ徒歩でのご来場をお願いします。

## 平成30年度第3回景観セミナーが酒々井で開催されます。

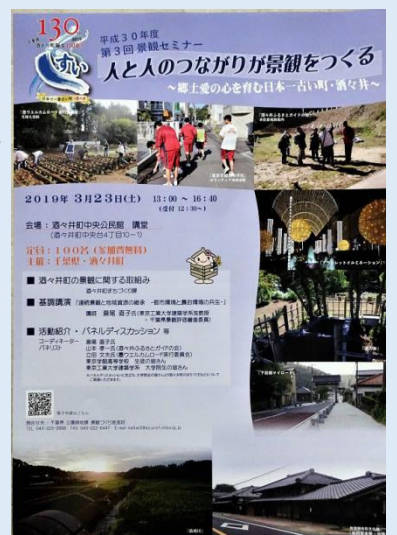
3月23日(土曜日) 酒々井町中央公民館講堂に於いて千葉県と酒々井町が共同で景観セミナーを開催致します。(受付 12:30~、開演 13:00~)

酒々井町は、周囲の都市が合併し肥大化する中、130年間町制を護っている日本一古い町です。また、自然や歴史遺産に恵まれ、これらが調和した素晴らしい景観の町です。

ややもすれば経済や個人の考えが優先される今日に於いて素晴らしい景観の町酒々井を後世に伝えるには、皆様がどのように関わればよいのでしょうか？一度破壊された、自然や歴史遺産は、再生することができません。このような観点からこのセミナーでは、「人と人のつながりが景観をつくる」というサブタイトルを設けて開催されます。酒々井町の自然、歴史遺産、美観、伝統等に関心をお持ちの方は是非ご参加下さい。(参加費無料、定員100名)

申込先：千葉県公園緑地課景観づくり推進班043(223)3998

問合せ：酒々井町まちづくり課計画整備班043(496)1171内156



## 経胤寺 (きょういんじ)

如意山経胤寺は本佐倉字西屋上りにあり 本尊は日蓮上人奠定(でんてい)の大曼荼羅です。康治2年(1143年)千葉介5代常胤の開基で当初は真言宗常胤寺(じょういんじ)と称していましたが、室町時代に顕本法華宗に改宗し寺号



宝篋印塔

を経胤寺と改めました。本堂は延宝3年(1675年)建立の棟札があって、酒々井町最古の木造建築物として町指定文化財となっています。境内には巨石供養塔、宝篋印塔(ほうきょういんとう)5基、幕末の頃の寺子屋師匠林田泰次郎の墓、明治時代の俳人原田虎月の墓があります。是非訪れてみてはいかがでしょうか。

※奠定(でんてい)とは、「定める、決定する」という意味です。



本堂と巨石積供養塔

## 第6回輝く創年とコミュニティ・フォーラムを終えて



分科会の様子

ずれの分科会も参加者の関心が高く、このことは、アンケート調査からも伺い知ることができました。参加者の皆様から頂いたご意見をもとに皆様と共に素晴らしい酒々井町をつくるために生かしていきたいと思ひます。ご参加下さいました関係者の皆様、貴重なご意見有難う御座いました。

酒々井町が開催致します「輝く創年とコミュニティ・フォーラム」も今年で6回を数えます。これまでこのフォーラムは、酒々井まちづくり研究所が中心となり運営してまいりましたが、本年は新たに住民活動団体の皆様に御参加頂きテーマの抽出と運営を行って頂きました。

今年のフォーラムは、これから始まる高齢化社会に欠かせない「自治会の役割と活性化」「女性の活躍で生まれる輝くまちづくり」の2テーマに絞り分科会を開催致しました。



酒々井中吹奏楽部によるオープニング

## 自治会紹介 その2 中央台ハイツ自治会

中央台ハイツは、昭和56年に生まれた7棟150戸の団地です。入居者の多くはサラリーマンで、出身地は、北海道から九州まで多方面の方々が居住されています。

自治会の自慢は納涼祭(夏祭り)です。昭和58年に第一回の夏祭りが開催され、素人集団の神輿同好会(現、無名会)によって昭和61年に神輿が、平成元年には山車が製作され、夏祭りでは山車を引き神輿を担ぐ事で住民同士の一体感と絆が生まれました。現在は「ふれあい納涼祭」と名前を変え、無名会(任意)と自治会役員が一体となって行う焼きそば・焼き鳥・綿あめ・かき氷等の出店や、盆踊り・手品・フラダンス等の出し物を見ながら夏のひと時を住民が堪能しています。平成29年からは、自治会決議によって新たな高齢化対策として共助の精神を強固にするため、「ハイツの集い」として「歌唱」「町内ウォーキング」「麻雀の集い」等を月2回集会所に於いて開催しています。また、これまでに培った相互交流から防災組織が生まれ緊急物資の備蓄も出来ています。



中央台ハイツ

(中央台ハイツ自治会長談)

## 編集後記

シスイッチ (Vol13) をお届けします。平成最後の発行となります。本文でご紹介のとおり、今回の音楽会は、統一地方選挙の投票日と重なっています。ぜひとも、投票をお済ませの上、ご来場いただくようお願いいたします。また、音楽会の内容については「輝け酒々井まちづくり研究会」のホームページでもご覧いただけます。「輝け酒々井」で検索してください。